

### 申17号 2021年度賃金引上げに関する申し入れ

### 21春闘

### 第1回目交渉で趣旨説明を行う！

要求項目

1. 基本給一律6,000円(定期昇給を含まない)の引上げ
2. エルダー組合員の基本賃金6,000円の引上げ
3. 定期昇給(昇給係数4)の実施
4. 第二基本給の廃止
5. 今後40歳を迎える社員及び40歳代社員への調整給1,200円の導入
6. 回答時期3月19日まで

### 満額回答を強く求める!

組合の趣旨説明

- ◆**新卒一括採用や終身雇用、年功序列型賃金体系などの「安易な見直し」には反対**であり、労使間において十分な議論が必要だ。
- ◆毎月勤労統計調査(速報値)で、1人あたり平均の月額現金給与額が31万8,299円となり、2年連続で減少している。このことは**賃金の引き上げが物価上昇に追いついておらず、実質賃金の減少が続いた結果、節約志向がさらに高まっている。**
- ◆**当社の利益剰余金は2兆4,648億円と言われている**、多くの企業はコロナ禍を理由に投資を抑制している。さらに従業員への還元を示す「労働分配率」も歴史的な低水準となっている。人材への投資は低い状況のままであり、**厳しい状況下だからこそ、しっかりと社会に還元し、積極的に賃金引上げを行っていくべきだ。**
- ◆定期昇給について、**経営環境の悪化を理由に組合員の昇給機会すら奪うことは労働組合として決して認められない。**今後における生涯賃金にも大きく影響する。あらためて**満額支給を要求する。**
- ◆子育てなど一番お金のかかる40歳代の賃金カーブは下落し、旧制度と現制度を比較すると、**昇給額の差額はこの8年間で9,600円となり、1年間に平均すると1,200円と昨年よりも格差は広がっている。**格差を調整する観点から**調整給の支給をあらためて要求する。**
- ◆一番重要視していることは、**労働組合として組合員の生活実感に踏まえ、このような厳しい経済状況下においても組合員・家族の安定的な生活を保障していくことだ。**そのためには、**賃金引上げは絶対的要素の一つであり、決して譲ることはできない。**
- ◆厳しい経営環境にあっても常に感染のリスクに向き合い、公共交通に従事する労働者としてその任務を全うしている**組合員の労苦に応えることが何よりも重要**であり、今後におけるモチベーション向上につながる。
- ◆現場では、十分な説明等が行われず、業務上必要なものも**あらゆる場面においてコスト削減が優先され、その姿勢に多くの疑問や不満が出ている。**現場の声に真摯に耳を傾け、組合員の労苦に応えるためにも**満額回答を強く要請する!**

会社の現状認識

- 1年以上、コロナ感染症の不安と緊張の中、日々、安全・安心してご利用いただけるよう尽力いただいている。2月13日の福島、宮城県地震では、**早期運転再開に力を尽くしていただき感謝申し上げます。**
- 基準内賃金の引上げは、長期にわたり総額人件費に多大な影響を及ぼすことから、足元の状況を踏まえつつ、中長期的な動向を踏まえた慎重な判断が必要。**
- 第3四半期決算は、コロナ感染症の影響を多大に受け、**運輸収入で7,000億円の減収、第3四半期決算としては過去最低、営業利益では対前年同期で△6,400億円の大幅赤字決算となった。**2度目の緊急事態宣言で収入がさらに落ち込んでいる。**通期業績予想も下方修正を行い、通期営業利益は5,080億円の赤字を見込んでいる。**会社発足以来の極めて厳しい経営状況だ。
- 経済動向は、2度目の緊急事態宣言を受け、特に鉄道業、航空業は厳しい状態で他社を含め業績悪化が続いている。国際的な人の往来も引き続き厳しく制限されており、**インパウンドの回復も現状では見通せない。**
- ポストコロナ社会において、テレワーク、eコマースなど人の移動を伴わない働き方、暮らし方が急速に普及し、当社グループを取り巻く経営環境を大きく、かつ、急速に変化させ、**鉄道をご利用になるお客さまは以前の水準には戻らない。**
- 社員一人ひとりが主人公となり、これまでの延長線では生き残ることすら容易ではないという危機感を持ち、変革2027の実現に向け高い意欲でチャレンジし続けていくこと**で、変化を先取りし、ヒトを起点とした価値・サービスを創造していくことが不可欠だ。
- 今まで以上に徹底したコスト管理を行う必要があり、抜本的な構造改革で生産性を向上させていかなければならない。
- 社員の持つ能力を最大限に発揮することができるフレキシブルな働き方を推進することで、会社が持続的に成長をし、**社員・家族の幸福を実現する好循環のサイクルを生み出していく。**引き続き、必要な諸施策については時間軸を意識してスピード感を持って積極的かつ建設的に進めていきたい。
- 令和3年度の新賃金については、賃金水準の引上げについて極めて慎重に判断をしなければならない状況にある。

### 21春闘勝利! 私たちの生活を守るために満額回答を勝ち取ろう!